

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 07-01-03	事務事業名 市民文化祭事業	所管部課 生活文化スポーツ部 文化振興課
-------------------	------------------	----------------------------

施策コード 創3-4	施策名 芸術・文化活動の振興	施策目標 市民の芸術・文化活動を支援するとともに、郷土の歴史である文化財を保護し、地域文化を大切にすまちをめざします。
---------------	-------------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	西東京市において文化芸術に関する活動を行う市民の日ごろの文化芸術活動の成果を発表する機会を設け、市民の文化芸術活動の一層の向上並びに市民の親睦及び交流に資することを目的とする。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する		
	市民公募から選出された実行委員会が自主的に企画運営をして市は予算の執行を行う共催事業である。		
	平成22年度文化祭開催期間：10月23日から11月15日の内18日間 発表部門：展示、生け花展、菊花展、茶会、華道、日舞、日舞(民謡)、洋舞、謡曲、吟詠、着付け、朗読、演芸、合唱、器楽、箏曲、大正箏、民謡、カラオケ、和太鼓、香道 参加者：4,135人 会場：保谷こもれびホール、西東京市民会館、コール田無、きらっと、田無公民館、ひばりが丘公民館、柳沢公民館、如意輪寺境内 予算科目：10.05.01.07 文化祭運営費 3,697,000円		
事業開始時期	12 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		3,449	3,394	3,519	3,697
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	200
一般財源		3,449	3,394	3,519	3,497
所要人員(B)	人	0.4	0.4	0.17	0.17
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	3,266	3,232	1,374	1,388
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	6,715	6,626	4,893	5,085
単位当たりコスト(E)=(D)/(発表企画数)	千円	320	301	222	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
①開催日数	実績値 日	24	25	19	
②発表企画数	実績値 企画	21	22	22	
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 参加者数	目標値 人	4,276	4,131	4,070	
	実績値 人				
二 来場者数	目標値 人	17,263	17,740	16,324	
	実績値 人				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	21部中12部で開催期間中各会場にて来場者に対するアンケートを実施した。来場者の感想では、概ね満足いただいている。実行委員会からは、来場者が多いと参加者の励みになるので、来場者増加に繋がる企画や広報の工夫が必要であり、その材料として、アンケートは参考となる。との意見もあった。アンケートについては継続実施したい。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 26市中実績回答のあった21市中参加者数は7位で、来場者数9位同様の予算規模の4市(武蔵村山市、西東京市、調布市、多摩市)の中で比較すると、参加者数は2番目に多いという結果となっている。ゆえにサービス水準は「中」である。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはない。

事業コード 07-01-03	事務事業名 市民文化祭事業	所管部課 生活文化スポーツ部 文化振興課
-------------------	------------------	----------------------------

施策コード 創3-4	施策名 芸術・文化活動の振興	施策目標 市民の芸術・文化活動を支援するとともに、郷土の歴史である文化財を保護し、地域文化を大切にすまをめざします。
---------------	-------------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等			
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業の優先度については、(仮称)西東京市文化芸術振興計画のための提言の中で、文化振興の課題として「多様な対象者に合わせた参加機会の提供」があげられ、それに対する施策に「幅広い年齢層が参加できる体験・鑑賞機会の充実」や「個人(団体)活動のきっかけづくり」があげられた。現在市が行っている文化祭事業は、文化活動をはじめのきっかけとなっているので、その役割は一層期待される。事業の主体の妥当性については、市民が主体となって企画運営する実行委員会を実施主体とすることで、経費を抑えながら、多くの参加者をまとめることができている。直接のサービスの相手方については、全市民が対象であり、今後PRの方法を工夫し、来場者数の拡大を目指す。発表ジャンルは21と、多岐にわたり、文化祭ならではの企画である。平成19年度事務事業評価の結果を受け、平成20年度から実行委員会役員と懇談会を開始し、課題見直しの場を設けた。受益者負担については、平成20年度より、茶会の茶菓子について受益者負担を導入した。市民ニーズの把握として、来場者に対するアンケートを行い、アンケート内容を充実させる。一次評価として継続実施としたのは、21市中参加者数が7位であり、予算に対する参加者数も9位となっていることから対費用効果としても効果は上がっているが広報を工夫し参加者の増加に努める。		
	事業の必要性	2				
	事業主体の妥当性	3				
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止		事業の優先度については、(仮称)西東京市文化芸術振興計画のための提言の中で、文化振興の課題として「多様な対象者に合わせた参加機会の提供」があげられ、それに対する施策に「幅広い年齢層が参加できる体験・鑑賞機会の充実」や「個人(団体)活動のきっかけづくり」があげられた。現在市が行っている文化祭事業は、文化活動をはじめのきっかけとなっているので、その役割は一層期待される。事業の主体の妥当性については、市民が主体となって企画運営する実行委員会を実施主体とすることで、経費を抑えながら、多くの参加者をまとめることができている。直接のサービスの相手方については、全市民が対象であり、今後PRの方法を工夫し、来場者数の拡大を目指す。発表ジャンルは21と、多岐にわたり、文化祭ならではの企画である。平成19年度事務事業評価の結果を受け、平成20年度から実行委員会役員と懇談会を開始し、課題見直しの場を設けた。受益者負担については、平成20年度より、茶会の茶菓子について受益者負担を導入した。市民ニーズの把握として、来場者に対するアンケートを行い、アンケート内容を充実させる。一次評価として継続実施としたのは、21市中参加者数が7位であり、予算に対する参加者数も9位となっていることから対費用効果としても効果は上がっているが広報を工夫し参加者の増加に努める。	
	事業内容等の適切さ	2				
	受益者負担の適切さ	3				
C	市民ニーズの把握	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			事業の優先度については、(仮称)西東京市文化芸術振興計画のための提言の中で、文化振興の課題として「多様な対象者に合わせた参加機会の提供」があげられ、それに対する施策に「幅広い年齢層が参加できる体験・鑑賞機会の充実」や「個人(団体)活動のきっかけづくり」があげられた。現在市が行っている文化祭事業は、文化活動をはじめのきっかけとなっているので、その役割は一層期待される。事業の主体の妥当性については、市民が主体となって企画運営する実行委員会を実施主体とすることで、経費を抑えながら、多くの参加者をまとめることができている。直接のサービスの相手方については、全市民が対象であり、今後PRの方法を工夫し、来場者数の拡大を目指す。発表ジャンルは21と、多岐にわたり、文化祭ならではの企画である。平成19年度事務事業評価の結果を受け、平成20年度から実行委員会役員と懇談会を開始し、課題見直しの場を設けた。受益者負担については、平成20年度より、茶会の茶菓子について受益者負担を導入した。市民ニーズの把握として、来場者に対するアンケートを行い、アンケート内容を充実させる。一次評価として継続実施としたのは、21市中参加者数が7位であり、予算に対する参加者数も9位となっていることから対費用効果としても効果は上がっているが広報を工夫し参加者の増加に努める。

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等			
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	市民の文化芸術活動の一層の向上・市民の親睦及び交流を目的として、市民の芸術・文化活動の充実を図っているが、参加者数・来場者数ともに減少傾向となっている。平成20年度から実行委員会と懇談会を開催しており、受益者負担の一部導入等見直されている面もあり、その点は評価できる。参加者についても硬直化の傾向があり、若者の参加が少ないため、実施方法やPR方法等について積極的に見直しを図りたい。また、指定管理者制度に伴い、会場使用料が発生していることから、受益者負担の導入についても今後、検討する必要がある。		
	事業の必要性	2				
	事業主体の妥当性	3				
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止		市民の文化芸術活動の一層の向上・市民の親睦及び交流を目的として、市民の芸術・文化活動の充実を図っているが、参加者数・来場者数ともに減少傾向となっている。平成20年度から実行委員会と懇談会を開催しており、受益者負担の一部導入等見直されている面もあり、その点は評価できる。参加者についても硬直化の傾向があり、若者の参加が少ないため、実施方法やPR方法等について積極的に見直しを図りたい。また、指定管理者制度に伴い、会場使用料が発生していることから、受益者負担の導入についても今後、検討する必要がある。	
	事業内容等の適切さ	2				
	受益者負担の適切さ	1				
C	市民ニーズの把握	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			市民の文化芸術活動の一層の向上・市民の親睦及び交流を目的として、市民の芸術・文化活動の充実を図っているが、参加者数・来場者数ともに減少傾向となっている。平成20年度から実行委員会と懇談会を開催しており、受益者負担の一部導入等見直されている面もあり、その点は評価できる。参加者についても硬直化の傾向があり、若者の参加が少ないため、実施方法やPR方法等について積極的に見直しを図りたい。また、指定管理者制度に伴い、会場使用料が発生していることから、受益者負担の導入についても今後、検討する必要がある。

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	市民文化祭は、市民の文化芸術活動の発表の場であるとともに、文化を通じた市民の交流・親睦のための機会となっており、今後も活性化を図っていく必要がある。 しかし、二次評価でも指摘されているように、近年では参加者の硬直化や若年層の減少が見られるため、文化に親しむ風土の醸成・継承といった観点から教育機関との連携により若年層の取り込みを図るとともに、参加者間の交流促進にも引き続き努められたい。 なお、二次評価で指摘のある指定管理施設利用時に発生する利用料金の負担については、市の実質的な負担が生じているものではないことから、その負担を利用者に求めるべきではない。